

技術委員会報告

～中体連女子育成スクール～

コロナウイルス感染症により、3 か月実施できなかったスクールを11月28日（日）におのサン・サッカーパークで開催しました。今回は中学生に高校生も合わせ20名が参加、小野 明 FA コーチがプランニングしたトレーニングを行い、最後は2チームに分かれてのゲームで今日の成果の確認を行いました。



今日のテーマはボールフィーリング&ドリブル。2グループに分かれ、女性の矢次美央コーチ（B級）、平川由美コーチ（B級、A級ジェネラル合格）をチーフコーチにし、男性コーチがサポートしながらトレーニングを行いました。状況に応じてボールの置き所を変えることや、自らドリブルを判断して実行すること、相手に対してドリブルを仕掛けて抜くこと、ドリブルをする

選手へ次のプレーのために情報を伝えること、などをチーフコーチからコーチングされ、選手たちもON（ボールを持っている時）とOFF（ボールを持っていない時）の状況を考えながら、視野を確保する動作や、味方に情報を伝えることなどに積極的に取り組んでいました。

そして最後はゲーム。2チームに分かれ、積極的にボールに関わるプレーがたくさん観られました。小野コーチの笛でお辞儀をすると、観ておられた保護者の皆さんから自然と拍手が・・・保護者の皆さんも絶好の晴天の中、お子様の活動を楽しんでおられたのがよくわかるワンシーンでした。



今回は、チーフコーチを女性指導者が担当し、サポートを男性コーチが行う、という『女性による女子選手の育成』を目指す第一歩を踏み出せました。本スクールでは、これをより発展させ、他県との交流なども計画していこうと考えています。男子と共に活動する女子中学生選手、来年度中学生になる女子小学生選手・・・月に一度では

ありますが、女子選手で集まって交流してみたいかでしょうか。本活動に興味をもたれた方は、県協会へ連絡してみてください。（文責 技術委員長）